

# 飯南

いinan

- 02 年頭のあいさつ  
12月議会報告 可決された主な議案
- 03 意見書の提出 陳情  
各会計補正予算
- 04 一般質問
- 08 全員協議会の議題
- 09 決算審査報告 採決の結果
- 10 常任委員会報告 議会活動報告
- 11 常任委員会報告 研修報告
- 12 明日を拓く

第64号  
令和3年1月20日





# 年頭のごあいさつ

飯南町議会議長 早樋 徹雄



明けましておめでとうございます。町民の皆様には穏やかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

さて、本年1月末には初代飯南町長の山崎英樹町長が勇退をされます。4期16年にわたり合併後の両町々民の融和を基本に飯南町の発展にご尽力を賜りましたことに心から感謝を申し上げる次第でございます。誠にありがとうございました。

今、世界中の国が闘っている新型コロナウイルス感染症は収束の目途がたらず大変厳しい状況が続いており、町民の皆様方には何かとご苦労が多いものと思えます。一刻も早い収束を願っておりますが、一方で人の暮らし方を考えさせられることにもなりました。

この未知の世界のウイルスとの闘いは今後も続くものと思われませんが、町民の皆様とともに立ち向かい、この難局を乗り越え、持続可能な地域づくりに懸命に努力をしてまいります。一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

皆様のご健勝と本年が希望に満ちた年になりますようご祈念申し上げます。

# 令和2年 12月定例会を終えて

12月8日から18日までの11日間で開催

マイナンバーカード取得促進のために地域クーポン券を発行するなどの事業（事業費542万円）、および特定地域づくり事業協同組合の設立を支援する事業（事業費700万円）を創設。特定地域づくり事業協同組合は、その財源の一部を国が負担し、安定した雇用環境と一定の給与水準の確保を目指す。地域内外の若者等呼び込むことで、地域事業者の事業の維持・拡大につながるものと期待される。

その他、公共土木施設災害の査定が完了し2551万円を増額するなど、総額1億1817万円の増額補正予算を可決した。

## 可決された主な議案

### 認定

令和元年度飯南町一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び各公営企業会計決算の認定

### 条例関係

飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定など3件

### 予算

令和2年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など8件

### 諸議案

財産(上来島リースハウス資材)の取得など5件

### 議員提出議案

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

## 意見書の提出

### 最低賃金の改善と

### 中小企業支援策の拡充を求める意見書

新型コロナウイルス禍は日本経済に深刻な影響をおよぼし、非正規雇用労働者やフリーランス、中小企業の多くが経済的ダメージを受けている。地域における最低賃金格差は東京一極集中を助長し、地方の労働力不足を招いている。

この状況下、労働者の生活と労働力の質、購買力を確保しつつ地域経済と中小企業を支える循環型地域経済の確立が急務である。

そのため、最低賃金の引き上げ、地域間格差の是正と併せ、国の大胆な財政出動を行い、中小企業の支援策を拡充することが有効な施策である。以上の趣旨により、下記の項目の実現を求め、意見書を提出する。

- ① 政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円以上を目指すこと。
- ② 政府は、最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
- ③ 政府は、最低賃金の引き上げができ、経営が継続ができるように、中小企業への支援策を最大限拡充すること。

### 〈提出先〉

内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
中央最低賃金審議会会長

## 陳情

### 琴引フォレストパークスキージョウ場運営継続についての要望

〔陳情者〕 島根県スキー連盟

会長 渡部 紀美

〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採 択

### 琴引フォレストパークスキージョウ場の営業継続について

〔陳情者〕 島根県高等学校体育連盟

部長 高橋尚彦(県立飯南高等学校長)

〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採 択

### ついでに嘆願

〔陳情者〕 島根県中学校体育連盟

会長 古藤浩夫

〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採 択

### 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

〔陳情者〕 松江市母衣町55-12

島根県労働組合総連合

議長 村上 一

〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採 択

### 赤名地区下市上地内町道裏町線水路の早期改修を求める陳情

〔陳情者〕 赤名地区自治振興協議会

会長 景山 治 ほか8名

〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採 択

## 〔令和2年度 各会計補正予算〕

### 一般会計 6907万円 増額

公共土木施設災害の工事費2551万円増額、障がい者介護・訓練等給付費1104万円増額、赤名保育所の屋根改修1021万円増額、特定地域づくり事業協同組合設立支援700万円増額など

各 会 計	補正予算額	予算総額	
一 般 会 計	6907万円	88億187万円	
特別会計	国民健康保険事業	112万円	6億2081万円
	後期高齢者医療事業	5万円	1億8046万円
	介護保険サービス事業	78万円	3974万円
病 院 事 業 会 計	2331万円	13億8075万円	
簡易水道事業会計	2320万円	3億5476万円	
下 水 道 事 業 会 計	64万円	5億4473万円	



# 一般質問

12月定例会



内藤 眞一 議員

## Q 時間外勤務の削減を

「民間なら違法水準」との見出しで、県内8市の残業状況が報道された。全員協議会で、執行部から本町の状況説明があり、労使協定で月24時間以上の残業をする場合には、所属長から総務課長あてに届け出をすることになっている。総務課のデータによる一人の最高時間は、令和元年度は437時間、平成30年度には655時間もあった。どこまで実態を把握していたのか。限られた職員に頼らず、健康第一で時間外勤務が発生しないよう、労使が一緒になって



頑張って残業する職員

解決すべきだ。町長の見解を問う。

## A 重要案件と認識

町長 山崎 英樹

健全な職場環境の確保、職員の健康管理、時間外勤務の削減は、重要であると認識している。

町職員には労働基準法は適用されないが、島根県人事委員会から労働基準法に準じた対応が求められている。

特定の部署、職員に時間外勤務が集中していた実態があり、該当部署への増員や経験のある職員の配置などを行なった。この対応により時間外勤務が減少傾向にある。

職員の健全な労働環境、労働条件の確保は「労使共通の課題として時間外勤務の縮減に努める」との共通認識で取り組んでいる。

また、副町長を総括安全衛生管理者とする「飯南町職員安全衛生委員会」を設置し、公務災害の発生防止、職場の安全衛生点検、職員の健康保持増進による快適な職場づくりを推進している。

## Q サル被害対策を

鳥獣被害の報告で、一番心配していたサルの被害が発生した。集団で出没するようになれば、農作物の作付は不可能に近い状況になる。サルが群れて現れるようになった以上、いつまでも待てる状況ではない。他市町村の対策状況も参考に、わが町の農業を守るためにも早急に手を打つべきではないか。

熊も頻繁に出没し、対応が必要。柿の木を伐採する方法もある。対策される方に補助金を出すことを検討してはどうか。



## A 現状調査してから

町長 山崎 英樹

サルの対策は、集落ぐるみでの追い払いが有効で、集落に住みつきにくい状況にすることが重要。まずは、中山間地域研究センターに現状調査をしていただき、その状況に応じ対応する。

熊対策は個人の自助努力で対応していただいている。個人でできない場合は、集落で対応していただきたい。補助金制度は考えていない。

# 一般質問

12月定例会



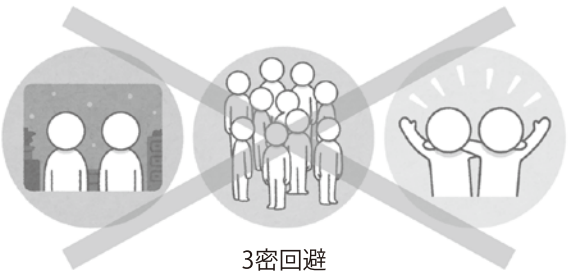
伊藤 好晴 議員

## Q 感染予防策と差別・偏見防止条例制定を

再び新型コロナウイルス感染が増加し「第3波」の到来と言われている。

県立中央病院で看護師や患者の感染が確認されており、予防のための対策をきちんと継続することが望まれる。本町では感染は見られないが、一層の注意を喚起することが求められる。

町民がとるべき行動(3密を避ける、手洗いの励行、マス



3密回避

クの着用などを日々呼びかけていくことが重要で、告知放送などを使った啓発を連日行うことを提案する。

感染者や医療従事者に対する差別や偏見が多数報道されているが、決してあつてはならないことで、各地で進められている条例制定は、町民に呼びかける手段として有効と思ひ、制定を提案する。

## A 必要なことを

必要なタイミングで

町長 山崎 英樹

これまで住民周知は、必要な啓発を必要なタイミングで行ってきた。住民には理解ある行動をとってもらっているの

で、これまでも方針ですすむ。差別や偏見のチラシを協議する際、条例制定も協議した。あつてはならない差別や偏見だが、チラシ配布で啓発し、条例は制定しない。

## Q 学校ICT成功に向けて

GIGAスクール事業の体制は非常に不十分と思う。教育に関わるICTはほかになく、ほぼゼロからの出発になる。

セキュリティやネットワークなど、幅広い知識が必要になる。教育ICTは単なる書類仕事では終わらず、幅広い専門知識も求められる。パソコンで書類をつくってそれで「終わり」ではないという問題もある。少しの努力でなんとかするとは思えないが、どう対応するのか。

GIGAスクールを専門に検討・指導・実践し、先頭に立つ組織を直ちに立ち上げるべきである。専門家の助言も必要で、関わってもらわなくてはならない。この組織は、事業導入後も積極的に活動する必要があると考え、方針を問う。



自分の演技を確認する

## A 研修会をして対応

教育長 矢飼 斉

子どもたちがICT機器を活用できるように、教師も研修を重ね、資質・能力を高めてもらいたい。

日々更新される分野であり、少しの努力でなんとかなる問題ではない。専門家の協力も必要だが、町教育研究会のメディア部会もあり、研修会を開催しながら、学校と取り組みを推進していきたい。



# 一般質問

12月定例会



小野 覚 議員

## Q 飯南高校の普通科再編は

文部科学省は高校生の学習意欲を喚起するため、従来の「普通科」のほかに新たな学科を設置できるとした。

一つは、持続可能な開発目標など現代的な課題に対応するために、学際科学的な学びに重点的に取り組む「学際融合学科」である。

大学や国際機関との連携体制をとることが要件化されている。

もう一つは、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、地域社会の課題の解決に向けた学びに重点的に取り組む「地域探究学科」である。

地元自治体・企業等との協力的体制や高校と地域をつなぐコーディネート配置することなどが要件となっている。

文部科学省では、早ければ令和4年春からの新設を想定しているとのことだが、飯南高校はどのように進むべきか、立地している自治体の長としての思いを問う。

## A 地域とともにある学校に

町長 山崎英樹

島根県では、平成31年2月に県立高校魅力化ビジョンを策定した。

この中で高校魅力化とは、生徒一人ひとりに、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むことを目指した地域社会との協働による魅力ある高校づくりであると定義づけている。

そして「生きる力」を育成するために、地元の住民や小中



飯南高校授業風景

学校、社会教育機関、地元企業などと高校魅力化コンソーシアム(共同体)を設置し、高校とよく話し合いながら「地域とともにある学校」を実現するとなっている。

本町では、飯南キラリ！ドリームアップ推進協議会を高校魅力化コンソーシアムに位置付けて、飯南高校の更なる魅力化に向けて取り組みを進めている。



飯南高校球技大会

このたびの文部科学省案にある「地域探究科」は、現在飯南高校で1年間やっている「生命地域学」を3年間やることにより、地域の課題に対応し、地域で活躍するすべを具体的に学び、地域を担う人材を育てる学科であると思う。

飯南町に資する学科が設置されれば、素晴らしいことだと思う。

# 一般質問

12月定例会



安部 丘 議員

## Q シニアカーにも

### 安心な道路改修を

シニアカー(高齢者向け電動カート)が急速に普及しているが、必ずしも安心・安全に走行できる道路事情ではない。歩道の段差や傾斜、路肩の浸食や舗装のくぼみが点在しており、バランスを崩し転倒する危険がある。歩道と路肩の改修や路面の補修は急務だ。また、離合できない道の拡幅も求められる。



利用拡大が見込まれるシニアカー

道路整備には、児童生徒、高齢者や障がい者など、交通弱者への視点も重要。道路パトロールに歩行者の視点を取り入れ、通学路点検の情報も参考にし、これまで以上に適切な維持管理・補修を行うように努める。

緊急性・危険性が高いと判断される箇所は、路面の草刈りによる視界の確保。路肩の改良、側溝への蓋掛による幅員の確保など、これまで以上に適切な維持管理・補修に努める。

## A 適切な維持管理に努める

町長 山崎英樹

国は教育のICT化に向けた政策を矢継ぎ早に打ち出し、強力にインフラ整備を進めている。本町も今年度、タブレット等のインフラ整備を進めているが、前提となる「ICT教育の姿」が具体的に示されていない。

来年度から小・中学校で新たに何が始まるのか。町民に届くよう計画の説明を求める。

頓原中学校では、他校に先駆けICT教育を推進している。生徒は自在に機器を操り、ICT教育への適応振りは素晴らしい。教育委員会には、他の小中学校でも取組みを進めるための支援が求められる。教育長の考えを問う。

## Q 本町のICT教育は

### ICT教育は

来年度から小・中学校で新たに何が始まるのか。町民に届くよう計画の説明を求める。

頓原中学校では、他校に先駆けICT教育を推進している。生徒は自在に機器を操り、ICT教育への適応振りは素晴らしい。教育委員会には、他の小中学校でも取組みを進めるための支援が求められる。教育長の考えを問う。

## A 一人一台で活用

### 広がる

教育長 矢飼 斉

来年度から小学校では、1・2年生は、タブレット端末に慣れ親しむ授業が始まる。3・4年生は、文字入力やアプリ



タブレット端末を使った授業を見学する議員

ケーションを使った調べ学習を主にやっていく。5・6年生は、文章作成やプレゼンテーションなど表現力の育成に加え、プログラミング学習を行う計画。中学校では、表計算ソフトを活用したグラフ等の作成、オンラインでの課題の提出、教員への質問、会議ソフトで町内外に発信するグループ協議などを考えている。

タブレットが1人1台になることで、個々の状況に応じた学習を進めることができるようになる。





高橋 英次 議員

## Q山崎町政の総括と今後に思うことは

4期16年の山崎町政総括とこれからのまちづくりについて思うところを問う。

## A新生飯南町を一生懸命育てたい

町長 山崎 英樹

「飯南町の一体感の醸成に努める」ことを第一に掲げ、町全体を見渡し施策の一つ一つの推進に心を配ってきた。何より住民の皆さんが合併の意味をよく理解し、関係組織・団体・住民同士との融和に努力をしていただいたおかげと思う。

飯南病院は、院長をはじめ職員の献身的な努力で、住民の信頼を得る病院運営がされている。また、総合診療医による地域医療への取り組みも認識され、総合診療医の専門研修の受け入れや、初期臨床研修でも飯南病院を選ぶ研修医が多く、病院関係者や町外から高い評価がある。

新人看護師の研修も、雲南4病院で合同研修により、看

護学校卒業と同時に飯南病院での仕事ができるようになったが、人員は不足しており、今後も町をあげて人材を育成する必要がある。

住民の皆さんには、病院関係者に対し「ありがとう」の励ましをお願いしたい。

施設福祉は、町内事業所において充実したサービスに努力していただいている。今後の施設の在り方を検討し、健全経営で持続できる体制の整備が求められる。

「定住促進」は最重要課題の一つであったが、様々な施策を展開し、職員や町民の皆さんのご理解ある対応で、一定の成果をあげることができた。

しかし、皆さんに申し訳なく、残念な事柄もある。

誘致企業「エリーゼ」は、再開に向け調整が続けられており、アンテナショップ「iマルシェ」は、売り上げこそ伸ばしているが、採算ベースには更なる努力が必要である。また「琴引フォレストパークスキー場」は、島根国体への選手育成の役割があるが、温暖化、新型コロナウイルスの障壁を克服しての健全経営が今後求められる。



## 全員協議会の議題

### 令和2年10月21日(水)

- ①人事院勧告に伴う対応
- ②レッドゾーン説明会の状況
- ③自動運転実証実験の結果
- ④来島保健センタートレーニングルームの使用
- ⑤産官学連携協定

### 令和2年11月26日(木)

- ①保健福祉課職員のファックス誤送信による個人情報の流出
- ②時間外勤務時間等の状況
- ③グレーチング等の点検結果
- ④インフルエンザ流行に備えた新しい医療体制

- ⑤令和2年度リースハウス整備
  - ⑥新型コロナウイルス対策商業活性化重点支援事業の執行状況
  - ⑦特定地域づくり事業協同組合制度
- 令和2年12月18日(金)**
- ①令和3年度当初予算編成
  - ②雲南市・飯南町事務組合ケーブルテレビ使用料等の改定に関する審議
  - ③マイナンバーカードの健康保険証利用登録

## 決算審査報告

決算審査特別委員会

委員長 景山 登美男

### 審査の対象

- 令和元年度飯南町一般会計歳入歳出決算書及び関係書類
- 令和元年度飯南町国民健康保険事業外2件の特別会計歳入歳出決算書及び関係書類
- 令和元年度飯南病院事業会計、飯南町簡易水道事業会計、飯南町下水道事業会計各決算書及び関係書類

### 審査意見

財政指標の状況は、経常収支比率が95.2%で前年度より0.5ポイント増加、地方債現在高比率が256.2%で前年度より14.0ポイント増加している。

将来負担比率は54.9%、実質公債費比率は11.3%と、いずれも早期健全化基準を下回っているが、今後も限られた財源のもとで、効率的かつ効果的な事務事業の執行に努め、引き続き財政の健全化に取り組みたい。

### 未収金

一般会計の未収金は214万9千円増、国民健康保険事業特

別会計は7万3千円増、簡易水道事業会計は3万8千円増、下水道事業会計も12万2千円増となっている。

滞納対策を徹底するとともに、収納率の向上と収入未済額の縮減に努められたい。

### 繰越事業

令和元年度の翌年度繰越額は9億6千万円と大幅に増加している。

早期発注とともに、適正な業務執行の徹底に努められたい。

### 組織及び事務分掌の見直し

業務の増加及び複雑化等に伴い、職員の業務分担が広範囲で過大となっている。

事務分掌の見直しとともに、職員定数の再検討を含め、業務量に応じた適正な人員配置に努められたい。

### 借地の見直し

借地は各担当課での管理に止まっており、全体が把握されていない。利用目的が終了した土地は返還すべきである。また、使用中の借地は取得を含め検討されたい。

### 水道の接続

赤来地域及び志津見・角井地

## 採決の結果

### [12月定例会]

件名	結果	議案の採決結果は次のとおりです。 ○賛成 ●反対								
		安部 丘	景山 登美男	高橋 英次	内藤 眞一	熊谷 兼樹	門真 一郎	瀧尻 行雄	伊藤 好晴	小野 覚
令和元年度飯南町一般会計、各特別会計歳入歳出決算及び各公営企業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町下水道事業会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### [追加提案]

財産(上来島リースハウス資材)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(野営リースハウス資材)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(獅子リースハウス資材)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第9号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### [12月定例会における陳情の採決結果]

琴引フォレストパークスキー場運営継続についての要望	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
琴引フォレストパークスキー場の営業継続について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
琴引フォレストパークスキー場の営業継続についての嘆願	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
赤名地区下市上地内町道裏町線水路の早期改修を求める陳情	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### [12月定例会における議員提出議案の採決結果]

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### [11月臨時会]

飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	●	○	○	○	○	○	○	○



# 常任委員会報告

## 教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



町道裏町線の水路を視察

### 令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

**【歳出】**  
**水田農業経営安定推進緊急対策事業 213万円**  
農業経営継続のため、水田園芸(高収益作物)への転換を図る意欲的農家を支援するため、飯南町地域農業再生協議会へ交付する。

**文化財保全整備活用事業 60万円**  
銀山街道上にある折橋復旧のための予算と説明を受けた。委員から適切な予算付けではないという意見があった。文化財保護の観点から、銀山街道を保全管理している集落・自治振興組織・団体に対し、今後も管理を継続してもらうために、活用するよう求めた。

**公共土木施設災害復旧 2551万円**  
公共土木施設災害査定後の実施設計による工事費増額。査定時には概算で工事費を算定しているため、差額を補正する。

## 研修報告 6次産業化への取組を視察

### 有限会社 大杉組 (三次市三良坂町)

竹林を整理し「美しい里山を次世代へ継承しよう」と竹林整備事業に参入した。

竹がはびこって困っている人は多いが、急斜面が多く、切って運び出すのが大変な作業である。

三次市には10a以上の面積があれば、竹林整理に対して補助する制度があり、集落単位で5年計画で竹林整理に取り組んでいる。

竹パウダーは肥料など用途が広い、畑に入れるとラクトバチルス菌の効果で土がふかふかになる。庄原市の農業法人が導入し、竹チップを10aに1t施用して水稲生産を行なっている。米コンテストで1位を取ったので、毎年使ってもらっている。

生産経費がかかりすぎて事業化はかなり厳しいとの説明を受けた。

### 平田観光農園 (三次市上田町)

一年を通じて季節の果物が取れる「ちょうど狩り」が人気で、ジャムやシャーベット作りの体験や屋外でダッチオーブンをを使って本格パエリアの料理体験など、体験メニューも充実している。加工施設ではジャムなどに加工して施設内や通販で販売している。

果物の生産や加工は独立採算制で、責任者が独自経営し成果を上げている。

本町でもリンゴ園・加工施設・道の駅が一体となり、平田観光農園のイメージで構成されているが、規模やそれぞれの連携などに課題がある。6次産業化は今後も視察をしながら研究していきたい。



大杉組で事業詳細を聞き取る



平田観光農園のぶどう園

# 常任委員会報告

## 総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



赤名保育所の雨漏りを視察

### 令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

**【歳入】**  
**地域振興費補助金 200万円**  
特定地域づくり事業協同組合設立に伴う基準資産や事務所の準備費、人件費に対する島根県の支援分。

**【歳出】**  
**地域振興臨時管理費 804万円**  
新型コロナ対策として「うぐいす茶屋」のドアや手洗いを自動化する。旧谷保育所跡地に倉庫を建設するための地盤改良を行う。

### 特定地域づくり事業協同組合設立支援事業 700万円

特定地域づくり事業協同組合設立に必要な準備金を補助する。同組合は、地域の仕事を組み合わせ、年間を通じた仕事を創出し、職員を雇用し組合員に派遣する。地域の雇用に深刻な影響を与えないよう、バランスの取れた制度にするよう求めた。

### マイナンバーカード取得促進事業 542万円

取得支援としての出張サポート支援と、利用促進地域振興クーポン券の配布を行う。新たに取得申請を行う者だけが対象となるのかとの質問に、取得済でも健康保険証との紐づけを行えば対象となるとの回答があった。

### 保育所共通臨時管理費 1021万円

老朽化で雨漏りが生じた赤名保育所の屋根を改修する。



赤名保育所外観

## 議会活動報告 [10月~12月]

- 10月 2日 島根県町村議会議長会全議員研修会 (松江市)
- 5日 議会広報編集委員会 (紙面校正作業)
- 7日 雲南市・飯南町事務組合議会定例会 (雲南市)
- 12日 議会広報編集委員会 (紙面校正作業)
- 20日 決算審査特別委員会
- 21日 全員協議会
- 22日 決算審査特別委員会
- 27日 飯南町秋季畜産共進会
- 28日 決算審査特別委員会
- 29日 決算審査特別委員会

- 11月 17日 総務厚生常任委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 20日 決算審査特別委員会
- 26日 臨時議会

- 12月 3日 議会運営委員会 (12月定例会の提出議案、日程ほかの協議)
- 8日 12月定例会: 本会議、町長提出議案の説明
- 11日 : 本会議、一般質問
- 14~16日 : 委員会審査
- 17日 : 委員会審査、予算特別委員会審査
- 18日 12月定例会: 本会議、討論、採決、全員協議会
- 21日 議会広報編集委員会 (議会広報紙編集作業)
- 24日 議会広報編集委員会 (議会広報紙編集作業)
- 25日 雲南広域連合議会定例会、雲南市・飯南町事務組合議会臨時会 (雲南市)

- 11月 4日 決算審査特別委員会
- 5日 教育経済常任委員会
- 6日 決算審査特別委員会
- 10日 決算審査特別委員会
- 12日 決算審査特別委員会
- 13日 地域連携に関する協定の調印式



# 雪とともに

(株)飯南トータルサポート

福岡 一樹さん(頓原)

雪に恵まれた今冬。同社雪の駅マネージャーとして活躍する福岡さんに、琴引フォレストパークスキー場への思いを伺いました。

## これまでの取り組みは

着任21年目になります。スキーとスノーボードが共存できるファミリースキー場というコンセプトで、若者を呼び込み集客増を目指してきました。修学旅行をはじめ団体客の取り込みにも注力し、責任者となった平成20年度に3万人に届かなかった来場者が、平成26年度には3万5千人近くまで増加しました。国道から1・5kmという絶好の立地と本町の除雪力、人工造雪機設備もあり、この強みをアピールし集客を増やすことが町への恩返しと思いやつてきま

# 明日を拓く



思いを語る福岡マネージャー

した。スキー場の従業員は、学校のインストラクターを除くと約30名、内2名が社員である。冬季の雇用確保に貢献したいのですが、町内の希望者は多くなく、派遣に頼らざるを得ないのが現状です。

## 目指す方向は

集客3万人は何としても達成したい。

リフト券に依存しているところは淘汰されています。総売上に対しリフト券売上が占める割合を50%以下にするのが目標です。スキー場全体のサービスを充実させることで利用客に楽しさを満喫してもらい、集客につなげたい。

レストランは新型コロナ対策として、今年から食券機を導入し座席を間引いてパネルを設置、メニューも絞って提供します。それだけだと弱いので、仕出し許可のある山荘・衣掛・やまなみが交替でテイクアウト商品を開

作り販売する予定です。

サービス充実のひとつとして、スキー用品のレンタルを自社に切り替えました。以前からやりたかったのですが、3〜4千万円と高額な初期投資となり、事後回収となるリスクを会社としては負えません。それが去年、レンタル資材を取り扱うリース会社で現れ、自社業務に切り替えることができました。このことでメーカーとのパイプも築け、販促物の提供やイベントへの協賛をしていただけるようになりました。メーカーによる試乗会もできるので、それ目当てのエキスパートも呼べるようになると思います。



新型コロナ対策をして営業中

多くのスキー客で歓喜の声がゲレンデにこだまする琴引フォレストパークスキー場。新型コロナで自粛生活を強いられた多くの方には、密状態を生まないように工夫されたスキー場は開放感満載のプレイスポットになったようです。近年の雪不足で閉鎖されるスキー場が多い中、指定管理者(飯南トータルサポート)や地域の方々の努力で、スキー強化選手たちを育成する本州最西端の貴重な練習場としても注目を浴びています。

## 編集後記

明けましておめでとうございませう。昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年でした。

本町でも、3月の小・中学校の臨時休校に始まり、さまざまなイベントが延期または中止となるなど、日常生活にも変化が生じました。

しかしながら本町では、町民の皆さまの感染防止対策により、これまで感染者は発生していません。引き続き、マスクの着用と手洗いの励行を心がけ、一日も早い新型コロナウイルスの収束を願ってがんばりましょう。

さて山碓町長は、今期限りで退任するとの意向を表明されました。飯南町初代町長として、定住対策を始め、保健・医療・介護・福祉そして飯南高校などさまざまな課題に尽力され、本町の礎をしっかりと築かれました。4期16年本当にご苦労様でした。

この広報が皆さまのところへ届くころには、新しい町長が誕生しているかも知れません。新町長の新しい時代に向けた力強いリーダーシップに期待したいと思います。

本年が笑顔のあふれる年になりますよう、助け合い支え合っと思っています。

議会広報編集委員 景山 登美男

## 今月の表紙写真

